

## 第3回 垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 会議録

1. 日 時 : 平成 27年 7月 29日 (水) 15:30 ~ 17:00
2. 場 所 : 垂水市役所3階 第一会議室
  1. 開 会
  2. 市長あいさつ
  3. 協 議
3. 会 次 第 :
  - ①垂水市人口ビジョン (骨子案) について
  - ②垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (骨子案) について
  4. 閉 会
4. 出 席 者 :

・尾脇 雅弥 市長	・岩元 明 副市長	
・佐野 雅昭 会長	・川畑 博海 副会長	・岩切 隆美 委員
・脇元 浩継 (代理)	・北迫 透 委員	・北川 善郎 委員
・岩橋 由紀 委員	・永田 兼一 委員	・福村 功次 委員
・上村 智彦 委員	・田中 加奈子 委員	・森 真由美 委員
・宮下 直弥 委員		
5. 欠 席 者 :

・宮迫 隆憲 委員
-----------
6. 事 務 局 :

・角野 課長	・堀留 係長	・脇 主査
--------	--------	-------
7. 

・有馬 主任主事
----------

---

事務局 … 開会の前に欠席の報告をいたします。  
D委員より欠席の連絡があり、また、N委員につきましても欠席であります。代理のご出席いただいております。  
それでは、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会設置要綱第6条第2項の規定によりまして、過半数の委員の出席をいただきましたので、ただいまより、平成27年度第3回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催いたします。

ここで、まず、市長よりご挨拶をいただきます。

---

市長 … 垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。

皆さま、本日は、お忙しい中ご出席ありがとうございます。

さて、前回は、G会長による講演会を聞いていただきまして、委員の皆様には南の拠点を中心にご意見をいただき、本市が目指すべき地方創

---

生の方向性に大いに参考にさせていただきます、感謝申し上げます次第でございます。

3回目は、今から45年先の長期を見据えた垂水市人口ビジョンと、それを実現するための目標と具体的施策を示した、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子案について、ご説明いたしますので、委員の皆様から自由なご意見をいただき、今後の最終形となる素案に繋げることができればと考えているところでございます。

なお、今回、ご説明いたします骨子案につきましては、これまでの庁内の担当課との打ち合わせや審議会の委員の皆様から頂いたご意見、また、市内4つの金融機関と意見交換を行い、そこで出された意見等を反映させた骨子案となります。

本日、審議会において、改めて、地域課題の解決に向けて必要な取り組みがございましたら、ご意見・ご提案をいただき、積極的なご議論を賜りますように、よろしくお願い申し上げたいと思います。

結びになりますけども、地方創生は垂水市の生き残りを賭けた地域間競争でございます。丁寧慎重でありながらスピード感を持って、ご協力いただければ幸いに思います。

どうぞ、本日もよろしくお願いいたします。

---

事務局

… ありがとうございます。

それでは、会次第3の協議に入りたいと思います。議事進行を本審議会の会長でありますG会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

---

G会長

… それでは、本日もよろしくお願いいたします。

協議①垂水市人口ビジョン（骨子案）につきまして、まず、事務局のほうから説明をお願いします。

---

事務局

… 皆さん、お疲れ様です。

それでは、パワーポイントの資料の1ページ目の協議のポイントの部分のみ私が説明させていただきます。

今回、皆様にお配りしております資料につきましては、骨子案と呼ばれるもので、ここにありますように、3段階あります。骨子案があつて、素案になり、最終的な原案というようになっていきます。

今回は、骨子案、計画のポイントなどを示したものをお配りしております。今回の会議ではこの骨子の概要について説明させていただきます。時間があまりないものですから、質疑応答、確認の時間を設けたいと思います。中身について色々と言いたい事があるかもしれませんが、時間的に厳しいものがありますので、今回は手元に別紙を準備してありますけども、それに記入していただきまして、8月7日（金）までに提出していただくかたちになります。今回ご意見を出ました部分について、事務局としては、素案に反映させます。その段階で計画書の形式をとった

---

---

ものをお示しできると思います。次回については、素案について協議していただき、行政手続きの一種であるパブリックコメントの手続きをとらせていただきたいと思います。

そして、パブリックコメント後の素案を原案に仕上げるまでの間にもう一度協議していただき、協議内容を本部会議に報告し、原案に仕上げるといふプロセスをとらせていただきます。

そこで、今回は骨子案について説明させていただきます。説明について疑問点などがあればご質問していただければと思います。また、持ち帰っていただき、1枚紙の用紙に記入していただき、ご提出していただければと思います。

以上で私の説明は終わりますが、この後は、担当が説明しますので、よろしくお願いいたします。

---

事務局

… それでは、協議①垂水市人口ビジョン（骨子案）について、資料1を使いながら説明いたします。

目次の部分になりますが、「Ⅰはじめに」、「Ⅱ垂水市の人口推移」、「Ⅲ人口の将来展望」とありますが、基本的なポイントとしまして、目次の構成は国の方針を踏まえまして、作成させてもらっています。国においても、昨年末に長期ビジョンを策定していますので、長期ビジョンに基づいた考え方を踏まえて、本市の長期人口ビジョン、今から45年先の平成72年(2060年)の将来展望を目指す形で策定していくこととなります。

今回、人口ビジョンにおいてご説明したいのは、2ページ目の「Ⅱ人口の将来推計と分析」とありますが、独自推計パターン①～⑤をお示ししております。まず、パターンゼロが推計パターン別人口の推移の中にありますが、国立社会保障人口問題研究所が、行政がそのまま何ら対策を取らなければ、垂水市の今後の人口推移がパターンゼロにあるように、5,761人まで大幅に人口が減少するという推計が示されております。

パターン①～⑤については、垂水市が独自推計を示したものになります。パターン①については、2030年までに、転入転出の数がプラスマイナスゼロになった場合、2060年に7,150人になる推計になっています。パターン②については、現状の垂水市の合計特殊出生率は1.56なのですが、2030年までに、政府の目標である1.8を達成し、それ以降については持続し、転入転出の数がプラスマイナスゼロになった場合、2060年には、8,121人になる推計になっています。他に、パターン③～⑤を示しているんですけども、今後、事務局において骨子案から正式な素案に仕上げる段階で、垂水市の将来人口の目標をパターン④の合計特殊出生率を2030年までに1.8を達成し、その後維持させ、なおかつ、2030年までに転入転出の数がプラスマイナスゼロ、なおかつ、2031年から子育て世代の移住を進めていった場合に、2060年の推計が11,877人という独自推計がでております。

---

垂水市としましては、このパターン④を採用させていただければと思っております。なぜかと言いますと、国も長期ビジョンを策定しておりますが、現在の日本の人口が1億2,700万人なのですが、2060年までに1億人程度の人口を確保したいと国が目指しております。約20%の減少率を示しておりますので、垂水市がパターン④を選択した場合、約25%の減少率になります。

他のパターンもお示しておりますが、国の長期ビジョンを踏まえて考えればハードルが高いと思いますが、この数値目標に対しての取り組みを進めていければいいのかなと思います。

人口ビジョンは長期のものを示すことになるのですが、今回、事務局として考えているのが、独自推計のパターン④を採用させていただき、それに基づいて、素案作りを進めさせていただきたいと思っております。それに関して、協議させていただきたいと思っております。

以上で、協議①垂水市人口ビジョン（骨子案）についての説明は以上になります。

G会長 …… ただいま、事務局のほうからご説明いただきましたけども、ご意見、ご質問等がございましたら、よろしく願いいたします。

大分先の話なのでピンとこないというのが正直な話だと思いますが、何もしなければパターンゼロにあるように、5,761人まで減ってしまうということがありまして、地域として何か目標を定めて、これから、さまざまな事業を実施していくことになると思います。目標をパターン④にしたいという事務局からの意思表示というか、これでいいですかということだと思いますけども、これに対して、高すぎるといった意見や低すぎるといった意見がございましたら、率直なところいかがでしょうか。

M副会長 …… 会長が先程言われましたとおり、全然想像がつかないのですが、これからこのパターン④になるためにはどうすればいいのかということが一番大事だと思いますので、これを採用するということは国の施策に沿っていますので、私は良いんじゃないかなと思います。ただ、これからが大変だと思います。

G会長 …… パターン④についての説明がありますが、合計特殊出生率が現状は1.56であるものを2030年までに1.8にしたいということであります。具体的に言いますと、子どもを産みたい、これから子育てをしたい、それがしやすいまちづくりをしていくことだと思います。そうしないと、1.56から1.8にはならないということでしょうから、これからの課題解決に関係してくるでしょうし、それから、人口移動が均衡するということは、人が出ていかない。これは、要するに、垂水に居て生活が成り立つ。地域内の雇用がしっかりと確保される。あるいは、拡大することでしょうから、雇用を増やすということでしょう。それから、毎年25組の家族移入を見込むということですから、垂水市の中で留まること

---

だけではなく、外から積極的に垂水に来たいという人が増えるということでしょうから、より大きな魅力がこの地域にないと達成できないことだと思います。

そのようなことがあって、初めてこのパターン④が成り立つ訳ですから、それぞれにおいて、しっかりとした施策を決めて進めていかないと実現しないということになります。正直、かなりハードルが高いと感じております。当然、チャレンジする価値があると思いますので、私もこういうことで、やっていくのが良いと思います。

他に皆さまからご意見がないようでしたら、ここで、市長からご意見を頂きたいと思っておりますけども、よろしく申し上げます。

---

市長

… 今、2060年という数字が出ましたけれども、元々垂水市としては、3年前だったと思っておりますけれども、人口減少対策プログラムということで、他よりも先んじて人口減少に対する対策を講じないといけないということで、体制を整えました。その背景にあるのが、2060年のその前の2040年までに鹿児島県下で30万人の人が減っていくということで、大隅全体が減っても足りない人口が減っていく、鹿児島市も減っていくというような社会現象と言いますか、高度経済成長のように右肩上がりの時代から人口が減って行って、経済が縮小していく日本の大きな流れがありまして、人間で言うところと青年期から円熟期を向けるという日本の姿だと思っていますので、川の流れのような絶対的な流れがありますから、人が減っていくことをどうやって食い止めていくのかということになります。

その時に、国の分析したもので、少子高齢化と色々ありますけども、高齢化率が43市町村の中で8番目に高いということでした。約35%が高齢者の方が多いということです。そのことも、長生きは良いことなんですけども、割合の問題です。そのことも一つの課題でしたけども、もう一つの年少人口率、14歳以下子どもの数が約10%、去年43市町村の中で下から2番目、南大隅町に次いで低い数字でした。さらに、2040年には一番低くなるというデータがでています。つまり、子育て環境の充実ということが課題にあります。なので、今日、子育て関係の代表の方が多いということになっております。子育て世代をしっかりと支援をしていくというのが、子ども達の問題、そして、高齢者対策にも繋がっていくということでもありますので、住みやすい環境作りを人口減対策の一番に持ってきて、進めて行こうと思っておりますのでございます。

そういう方向性、他よりも先にやって、間違っていないと思うんですけども、すぐに結果が出るものではありませんし、先程、先生からもありましたように、これは一つの大きな流れであってそう簡単ではないということで、川上から川下へ流れるものを止めるだけでも大変なのですが、反対に上に流れて行くような話でありますので、相当な頑張りが必要だということです。

---

危機感を持っておりましたので、そのようなことを思いながら色々な施策を実施し、また、今回も人口ビジョンということで国の言うとおりにすれば良いという話ではなくて、成果や・結果が本物でないという意味がないとまでは言いませんけども、少なくとも年間 300 人のペースで人が減っています。このペースを 200 人とか 100 人というように食い止めることが重要でしょうし、そして、それが止まったら 1 人でも 2 人でも多く増やしていく。そのためには、先生がおっしゃいましたように、まずは、雇用の場であったり、住まいの場であったり、子育て環境の部分だったりしますので、最初の時も言いましたけど、思い切った施策を打ち出したいと思っておりますので、人口減に対しては、そのように認識しているところでございます。

---

G 会長

… ありがとうございます。

本日すぐにご意見をというのは難しいかもしれませんが、事務局から先程ありましたように、こちらの骨子案についての意見書を提出していただきたいと思えます。

チャレンジするということでございますけども、この審議会も力を併せて、頑張りたいと私も会長として思っております。

続きまして、次の議題に入りたいと思えます。次が、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）についてでございます。こちらのほうも事務局から説明をお願いします。

---

事務局

… それでは、今度は資料 2、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）とパワーポイントを基に説明させていただきたいと思えます。

まず、画面の方ですが、総合戦略のポイントなのですが、今回お配りしていないのですが、国の方から昨年 1 月に地方版総合戦略策定のための手引きが示されております。その策定の手引きに沿って、垂水市総合戦略も計画の位置付けや、構成方法、進捗管理方法などを盛り込んで、総合戦略を作り込んでいくこととなります。

この資料 2 の総合戦略の骨子案なのですが、これまで、庁内の担当課とヒアリングを実施し、色々な事業提案をしていただいたのですが、なおかつ、審議員の皆さまのアイデアや意見などを盛り込んで、また、市内の 4 銀行と意見交換会を実施しまして、そこでも色々な意見を頂いておりますので、そのような皆さまの意見を総合戦略の参考にさせていただいているということが一つのポイントになっております。

後ほど、詳しく言いますが、今回、垂水市の総合戦略において、4 つの基本目標を設定しております。1 ページ目をお開きください。こちらは総合戦略における目次なのですが、1 基本的な考え方、2 今後の施策の方向の大きな 2 つのくくりで考えております。

まず、1 基本的な考え方につきましては、先程も言いましたように、国の策定の手引を基に、国の総合戦略の基本的な考え方などを盛り込ん

---

であります。策定期間としまして、長期目標を達成するための5カ年の戦略を記述することになります。あとの構成内容も国に沿って作り込みしていくことになります。進捗体制と進捗管理におきましては、庁内課長級で構成されます本部会議や、審議会で効果の検証等を行っていただきたいということを文章化していきたいと考えております。

本日は大きな見出しの2今後の施策の方向の部分について、重点的に説明させてもらいたいと思います。

まず、ページ番号1、2今後の施策の方向になりますが、国においても同じように総合戦略を策定しているのですが、国の総合戦略においても、人口減の克服、地方創生のために、そういったものを目指して、政策分野ごとに4つの基本目標を設定しております。この国の基本目標を踏まえて、垂水市も基本目標の設定をしていきたいと思います。

1つ目が、若い世代が安心して働ける職場を生み出すために、基本目標①垂水市における安定した雇用を創出する。としております。

2つ目が、垂水市の移住定住に繋げるために、基本目標②垂水市への新しいひとの流れをつくる。としております。

3つ目が、少子化対策を実現させるために、基本目標③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。としております。

最後の4つ目が、安心な暮らし、あと、本市が目指すまちづくりのために、基本目標④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。という4つの基本目標を垂水市の総合戦略でも設定したいと考えておりますが、これから説明していく中で、垂水市の実情を考えてこの基本目標だけでは足りないということになれば、新たに基本目標の設定を定めたいと考えております。現時点では、国の方向性に沿って垂水市も設定していこうと考えておりますが、そうすることによって、この人口減少の克服や、地域の活性化の取組もこの4つの基本目標で達成可能ではないかなと考えております。

それでは、次に2ページをお開きください。

基本目標①垂水市における安定した雇用を創出する。こちらについて、ご説明させていただきたいと思います。

本市における安定した雇用作りに向けた現状・課題をお示しするようなかたちで、文章化したいと考えているところなのですが、基本的に地域資源を生かした創業支援、新たな創業者への支援に取り組む。安定した雇用作りのために、6次化産業推進や、販路拡大支援、産業振興に取り組む必要があるということを文章化することができればいいのかなと考えております。中ほどにあります、この基本目標を達成するための検証を行うために、平成31年の5年後の数値目標が必要となります。こちらには例としまして、新規雇用者数、新規創業者数を例示しておりますけれども、今後、担当課との協議を踏まえまして、正式な数値目標の設定

---

を考えていくこととなります。

次に、3ページ目になりますが、こちらは基本目標①を達成するための具体的な取組の方向性を文章化していくこととなります。こちらでは、基本的方向のポイントを表記しております。

まず、一つ目が地域資源を生かした創業支援の推進としまして、新たなビジネスの展開への支援や、金融機関との連携を考えて、異業種交流の推進などが考えられるのではないかと思います。

次に、既存産業の育成、経営安定化の推進の取組も必要ではないかと考えております。生産量であったり生産額の増を目指すための経営基盤の強化であったり、経営安定化に向けた新商品開発、また、販路拡大、ブランド化の推進などが考えられるのではないかと考えております。

次に、魅力ある仕事づくりの推進としまして、若い方や女性が安心して働くことができるように、仕事の量だけではなく質の向上や、人材育成支援、企業誘致への支援体制といったことが考えられます。そういった方向性をこちらの方で盛り込んで、文章というかたちで今後示していければと思います。

次に4ページ5ページをお開きください。

基本目標があり基本的方向性を示すのですが、こちらでは、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）が示してありますが、こちらでは、今後5年間の内に実施する施策を検討して、事業というかたちで盛り込んでいければと考えております。

真ん中のあたりに、「○」「●」「・」として事業名を掲げているのですが、「●」が既に垂水市が取り組んでいる事業。「○」が今回提案していただいたことを踏まえた新規事業になります。「・」についてですが、こちらはまだ具体的な事業になっていないもので、基本目標①を達成するために検討すべき取組となっております。

今後、素案作りをしていく中で、若干表現は変わりますが、このような内容を素案においても盛り込んでいきたいと考えております。

具体的な施策としまして、新たな雇用の場の創出に関して言えば、創業支援事業や、新規就農者への支援事業など、前回からお話していますように、南の拠点整備を進めていく中で新たな雇用を創出するのではないかと考えております。

また、産業振興の面で言えば、販路拡大事業、6次化推進事業などが盛り込まれると考えております。その他にも、安定した雇用創出に向けての取組になりますが、地元企業による地元採用の取組であったり、消費者目線に立った消費者ニーズに合った新商品開発事業などを具体的な事業として盛り込んでいければと考えております。

次が6ページになります。基本目標②垂水市への新しいひとの流れをつくる。ということになりますが、本市への新しい流れをつくるための

---



---

現状分析・課題をお示しするかたちになるとと思いますが、社会減の改善に向けて、将来的な移住定住に繋がるような観光振興における交流人口の拡大を図りたいと考えております。もう一つが、若年層の転出抑制・転入促進の取組が必要なのではということをお示しできればと考えております。

ここでも、基本目標②の達成度合を検証するために、数値目標を設定するかたちになりますが、そこに例として示しております。

次に、7ページ目になります。

作り込み方は同じなのですが、基本目標②を達成するために、どういった取り組みを推進していくのか、そういった方向性を示すかたちになります。ここでは、2つの推進していく方向性を示しております。まず、魅力的な観光資源を生かした多様な交流の推進としまして、前回の審議会において説明した南の拠点整備、さらに、既にある観光地のさらなる充実と観光メニューの充実等が考えられると考えております。

次に、積極的な定住移住対策の推進としまして、空家対策や住宅地整備、今後、ベッドタウン化へ向けた通勤通学支援策の検討が考えられるのではと考えております。この部分につきましても、文章化して素案に盛り込んでいこうと考えております。

次に、8ページ目になります。

ここでも、基本目標②の達成に向けた今後5年間の内に実施する施策を検討し、事業を盛り込むかたちになります。具体的な施策としまして、交流人口の増加に向けて、南の拠点整備事業や、道の駅活性化事業、スポーツ合宿誘致事業などを盛り込むかたちになります。また、定住移住対策としまして、空家バンク制度、空家リフォーム促進事業、空家の有効活用を行い、移住定住対策を考えていきたいと思っております。

次に、9ページ目になります。

ここは、基本目標③に盛り込むべき内容を説明させていただきたいと思っております。

ここでは、本市の少子化対策等に関する現状の分析や課題をお示しすることになりますが、本市の年齢構成をみると、少子高齢化が際立っており、極端な構成割合になっております。そのために、人口の若返りが必要になってきます。さらには、若年層の希望をかなえる取組を実施する必要があることを文章化することになります。

同じように基本目標③においても、数値目標を今後定めるかたちになります。

次に、10ページなのですが、こちらも基本目標③の達成に向けて、どのような取組を推進していくのかの方向性をお示しするかたちになります。2つの推進すべき方向性を示すかたちになり、はじめに、結婚・出産・子育てしやすい環境づくりの推進としまして、子育ての安心化に繋

---

がる環境づくり、子育て世代が関心のある教育環境整備、仕事と家庭の両立を盛り込みたいと思います。

また、次に、若年層が暮らしやすい環境づくりの推進としまして、若年層の転出超過の解消、出会いの場がないということで、出会いの場の創出、そういったことを盛り込んでいきたいと考えております。

11 ページ目ですが、これも、基本目標③の達成に向けて、今後5カ年の内に取り組むべき施策を検討し、事業に盛り込むかたちになりますが、結婚・出産・子育てしやすい環境づくりに向けて、経済的な負担軽減となる医療費助成の継続や子育て世帯向けの住宅リフォーム事業や子育て支援センターや児童クラブの充実といったものを考えております。教育環境の充実といたしまして、垂水高校への支援事業、新たに中学生の学習の場の提供を事業として盛り込んでいけたらと考えております。こういった点で、少子化対策に取り組んでいこうと考えております。

次に、12 ページになりますが、最後の基本目標④についてですが、まちづくりに関する分析・課題をお示しするかたちになりますが、ここでも、新たな地域経済を支え、地域活性化を図る意味で、南の拠点整備によるまちづくりを推進していくことや、安心な暮らしに向けた防災対策、空家の有効活用、今後、大隅半島の市町村との広域連携などを文章化できればと考えております。

次に、13 ページ目ですが、基本目標④の達成に向けて、取組の方向性を文章化したいと考えております。ここでも、施策推進の方向性を示しているのですが、はじめに、新たな拠点整備の推進としまして、南の拠点整備における機能等の検討、それらの充実を図るためにも、外部も含めた人材確保などを盛り込めればと考えております。次に、安心して暮らせるまちづくりの推進としまして、現在、垂水市で行っております地域振興計画によるまちづくり、地域住民自らによるまちづくりを今後も継続して取り組んでいくことなどを盛り込んでいければと考えております。また、住みやすさの向上といたしまして、社会基盤整備などを盛り込んでいければと考えております。

最後に14 ページになります。基本目標④の今後5カ年の内に実施する施策や事業を盛り込むこととなりますが、ここでは、新たな拠点整備としまして、南の拠点整備を示しております。こちらを事業というかたちで取組を盛り込んでいきたいと思います。

また、安心して暮らせるまちづくりとしまして、空家リフォーム促進などを盛り込んでいければと考えております。

以上のような構成で垂水市総合戦略策定を進めさせていただきたいと思いますが、今説明しました基本目標や基本的方向性などが妥当なのかどうか。また、個別の具体的な事業が妥当なのかどうか。今後取り組んで欲しい事業がありましたら、今日でなくても構いませんので、別紙の

---

意見書で提出していただければ、ありがたいと思います。

こういったかたちで、垂水市の総合戦略を説明したのですが、基本目標①～④の中で、南の拠点づくりが垂水市総合戦略の大きな柱になると考えております。この南の拠点整備をすることで、新たな雇用創出の取組や交流人口拡大、南の拠点を中心としたエリアを含めたまちづくり、そういったかたちで総合戦略に盛り込んでいけたらと考えております。

以上で、総合戦略骨子案の説明を終わります。

---

G会長 … 4つの基本目標に分かれていましたけども、それぞれの考え方や、その中で方向性、ポイント、具体的な施策のアイデア等をご紹介いただきました。これにつきましても、今、それぞれ4つの目標ごとに意見があれば伺いたいと思いますけれども、無ければ、先程から言っていますように、後日、文書でいただければと思います。

まず、基本目標①は雇用についての部分でございまして、創業支援、地場産業の安定化、若者にとっての魅力ある仕事づくりが基本的方向として示されております。ここについて、何かご意見等ございませんでしょうか。

特に、産業分野でありますから、具体的に関連しておられる方々からご意見があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

---

A委員 … 昨日も総会がありました。雇用を産むということの前に、燃料の高騰、飼料の高騰、そういうことにより、生産コスト削減を図らなければならないという意味で、養殖業は大変厳しい中にあります。しかし、そのような中でも頑張っておりますが、今後はもっともっと地元とタイアップして、地元の祭りを盛り上げていこうと思っております。ですから、雇用については、若干ずつではありますが、増えていくのではないかなと私は思っております。

---

G会長 … 農業関係ではいかがでしょうか。一言お願いできますでしょうか。

---

B委員 … 新規就農支援事業などがありますが、農業の中でも畜産が現在は好調でございまして、子牛価格が平均 60 万円以上ということで、過去最高の価格になってきております。垂水市におきましても、畜産農家はいるんですけど、農協の肝属管内でも垂水市の畜産農家は大体 50 代が一番若い状況です。戸数としては、30～40 なのですが、他の市町村に比べて抜きん出て若いということが垂水市の特徴としてあります。ほとんどが、後継者であったりするのですが、問題であります独身者であったりがあります。串良町などは畜産農家が多く、10 個ぐらい町内に部会があれば、垂水市はその 1 個に過ぎないぐらいの大きさであります。畜産分野はいいのですけれども、肥育農家に関しては、子牛が高い関係で難しくなってきたりまして、構造的に無理がきている部分もあります。宮迫さんが今日は欠席していらっしゃいますけども、園芸関係になりますと、降

---

灰対策事業をしながら農業をやってみようという方もいらっしゃるのですが、投資が大きくなってきますので、そのへんの補助事業を活用しながらやっていければと思うのですが、降灰で園芸に関しては厳しい状況が続いているというところです。

---

G会長 … E委員、何か一言お願いできないでしょうか。

---

E委員 … 今、B委員からありましたように、確かに園芸に関しては、何かと資金が必要になるというのが現状だと思います。ただ、反面、今、有機栽培に関わろうとしている若い方もでてきていますし、私もそうですが、女性の経営者さんも段々と出てきつつあるのではと思います。

南の拠点を中心にとということが説明されたのですが、そこを今からの若い人達が長期に渡って関われるような作り方をしていけば、安定した雇用を生み出す基盤にもなるのではないかなと思います。最終的には資金といった部分や人と人の繋がりが必要になってくる部分がありますので、人との意見のすり合わせが今後重要になってくるのではないかと思います。

---

G会長 … ありがとうございます。資金という話ができましたけれども、金融機関の鹿児島銀行さん相互信用金庫さんから見て、何か一言でもあればお願いします。

---

H委員 … ここに書いてあるブランド化について、稼ぐ力を引き出すための6次産業化の推進だと思いますが、これは、一部の業者に限ったことではなく、全ての業種において言えることであって、生産だけしているのであれば、そのコストが高いのであれば、コスト削減していただくということは大前提でございますけれども、その次のビジネスについてですが、販売まで関与していくということです。そこで、少しは費用が抑えられるということです。そうなれば、そこにまた雇用が発生していくということに繋がる。もう少し、欲張った施策も考えていかないといけないと思います。今、キーワードとして言っているのが、ネクストという言葉です。次はどうするのかということです。ネクストというキーワードを生かしていってほしいと思います。

それと、金融関連から言いますと、資金の部分についてですが、今、うちの方で再生可能ファンドというものを打ち出しています。いずれ検討しなければならないのは、「地方創生ファンド」ができないのかなと思っております。これは、民間だけの力だけではという部分がありますので、官民、行政と金融機関が連携したかたちのファンドができれば面白いかなと思います。これは、案でございます。以上です。

---

I委員 … 地方創生に限らず私どもは創業支援や事業拡大や異業種参入というかたちで、今も2、3件相談がきている状況です。そういう点で、当然計画もですが、できるだけ前向きに取り組んでいこうと考えてやっています。

---

---

すので、垂水市を盛り上げるためにでしょうけども、私たちがそのように事業をどんどんしていきたいという方に対して少しでも支援をしていければと考えております。

G会長 …… ありがとうございます。今、色々は意見もありまして、経営の安定化というものが先行性があるという現場の厳しい状況があります。まずは、コスト削減等々、縮減していく方向性で現状の経営を進めていく必要もある。そういったことも大切だと思いますし、それに加えて、6次産業化のような付加価値を地域の中につくる。そのような、ポジティブな積極的な方向性も必要だということで、いずれも、基本的な方向の中には、盛り込まれておりまして、皆さんの意見を聞いておりまして、方向性は間違っていないというように感じた次第であります。

金融機関からも心強い意見がいくつか出まして、こういうかたちでしっかりと進めていけば、目標実現に近づくのではと思いました。

それから、基本目標②・③あたりについて、観光や子育てについてなのですが、子育てのほうの意見も伺いたいのですが、ご意見があればお願いしたいのですが。

J委員 …… 人口ビジョンの資料を見させてもらったんですけど、2030年までに合計特殊出生率を1.8にしたいということなんですけど、大隅半島では産む場所がなくて今でも困っているんですけども、子育てについては非常に良い環境が整っていると今でも思うんですけども、産む場所がなければ人口が増えないと思うんですけど、質問になってしまうのですが、これから先、大隅半島に産科ができる予定があったりだとか、今、話があるのでのかなということが知りたいです。産む場所があって、子どもが生まれて、人口が増えていくわけですので、どうなっているのかなという点が1点と本市と同じような課題を抱えているところが全国にはあると思うのですが、骨子案を作るにあたって、参考にした市町村があったら教えていただければと思います。

G会長 …… 事務局のほうで今のご質問にお答えできますでしょうか。

市長 …… 産科に関しましては、需要と供給と言いますか、難しい部分もありまして、4市5町の中でやっという中でもなかなか進まないのが現状です。ですけれども、先程、ご指摘があったように、それではいけないということでありますので、極論を言えば、垂水市でなんとか確保できるぐらいのところまではやりたいと思っております。しかし、4市5町の中でも難しいという現状でありますので、ある意味宝くじに当たるような、ある程度時間を掛けて、一本釣りのなものでありますとか、大きな予算を毎年何千万円という資金を投じないと営業が難しいということで、離島などでは1人確保するのに3千万円という話でありますので、それぐらいの覚悟、見通しを持ってやらないといけないという話で

---

すけど、決して、諦めているのではなくて、今はできることからで、子育て支援センターでありますとかをやりながら、最終的にはそこがあると思っておりますので、いついつと言うことは申し上げられませんが、そのことは常に頭にありますので、ご理解いただければと思います。

---

G会長 … 見本とした市町村に関してはいかがでしょうか。

---

事務局 … その点に関しましては、県外で既に総合戦略を策定している市町村がいくつかあります。それを参考にしてはみたのですが、子育てに関しては、大体、似たようなかたちだったのですが、どちらかと言えば、垂水市が現在子育ての計画を策定しておりますので、その計画を参考にして、その中で、今後取り組むファミリーサポートセンターなど、子育て計画を参考にしながらや、各課とヒアリングを行っておりますので、垂水市に合った事業化のかたちになっています。

---

G会長 … どこかを真似したものではなく、この地域に合わせたかたちを作ったということだと思います。

次に、K委員の方から何かありますでしょうか。

---

K委員 … 今、市長の方からお話を頂いたのですが、日本全国で産科医が少ないということは日本の課題だと思います。そういった中で、子育て中のお母さん方の意見を聞くと、妊娠中に少しお腹が痛いという時や出血があつたりした時に、鹿児島市内であつたり、受診している病院まで、30分、1時間掛かるとなった時に、病院に行くほどではないが、ちょっと不安を抱えている場合に、垂水市内にそのようなことを相談できる助産師さんであつたり、そういう方がいらっしゃったらいいなという意見があります。産婦人科医まで求めてしまうと厳しい現状があるので、相談窓口があつたらいいなという意見は耳にします。そのような、できるところからしていただきたいなということがあります。

また、別な話になりますが、雇用の面で、垂水には垂水高校があつて、その後は、専門学校などの就業支援と言いますか、学ぶ場所、例えば、ヘルパーの資格を取得したいとか、医療事務の資格を取りたい若いお母さん方がいらっしゃった時に、学校に行くとなると、鹿屋だつたり、鹿児島に行かないといけないので、学習する場があつて、その上に、働くところまで繋がっていく、そういう、段階を踏む場所がないということで、勉強する場が欲しいという意見もあるということを知っていただきたいなと思います。

---

G会長 … 資格取得ですとか、就労の勉強をする場所が欲しいという意見ですね。ありがとうございます。

あとは、観光とか地域づくりについてもありますけども、F委員、観光について何かありますでしょうか。拠点づくりなどに関係してくるとは思いますけども。大隅全体から見てですね。

---

F 委員	…	交流人口を増やすことも大事なことだと思いますが、そこで、どのようにお金を落としてもらおうか。そういう視点からも考える必要があるのかなと思います。所得向上させるということも、雇用を生み出すことについては、重要なことだと思いますので、そういう視点からも考えていく必要があるのかなと思います。
G 会長	…	C 委員、L 委員のほうから、地域づくりの部分で何かご意見がございましたら、よろしく願います。雇用の方でもよろしいので、願います。
C 委員	…	雇用のほうからですと、若い方が他の市の鹿屋市、国分市の近隣の市に比べると、大学、専門学校が垂水にはないものですから、10 代・20 代の若い方々が他に比べると少ない。その分、バイトの人が就職よりも逆に少ないです。働こうというバイト生が極端に少ないです。このあたりの商業系は人手不足の状態に陥っている状態です。どこのスーパーやコンビニに行ってもバイト募集の張り紙がしてあると思います。先程ありました勉強のできる学校などがあつたらいいのかなと思います。
G 会長	…	若い人が少ないと、どうしてもそういう労働力も確保できないということですね。 L 委員、いかがでしょうか。
L 委員	…	この 6 次産業化の部分についてなのですが、私たちも大野で芋を作ったりですとか、水産であれば水産加工物を作ったりだとか、垂水には魅力的なモノがたくさんあると思います。先日、垂水市と垂水市商工会からの誘いで、東京で開催した垂水物産展に参加させていただきました。私もそのような催しに参加するのは初めてだったのですが、色々な方と交流ができて、垂水を P R できた良い試みだったと思います。ご支援を頂いた企業がメガソーラーのリニューアブルジャパンさんということもありまして、市長のリーダーシップなどの良い関係を構築されたうえでの今回の事業だったのかなと思います。これからも、そのような物産展などを開催していければ、私たちもどんどん参加して垂水市を P R できたらなというところもあります。 雇用については、やっぱり、大きな企業が誘致できれば安定した雇用が確保できて、そうすると、人が来て、子育てしやすいまちづくりを掲げている垂水市ですので、より人が移住してきやすい環境を作りだせるのではと思います。 この独自推計のパターン④で 2030 年までに合計特殊出生率 1.8 と仮定し、また、移動もゼロになり、加えて、2031 年より毎年 25 組の家族移入とありますが、これをみると、なかなか厳しい、好条件を考えていると思います。 ですが、これに向けて市としても様々な施策をしていくうえで大事なものは、住み良いまちづくり、子育てしやすいまちづくりということもあ

りますが、具体的な事業として様々な事業がありますが、不妊治療助成事業も今後検討していくとありますので、子どもは欲しいんだけどできないという人が私の周りにもたくさんいますので、県単位では15万円までの不妊治療に対する助成事業があるそうなのですが、本市として独自の助成制度を実施して、極端に手厚い助成を垂水市独自でしてみるような、他の市から批判が出るぐらいの手厚い特価した事業をしてみるのも、垂水市として特化して、垂水市は住み良いまちづくりもあるし、雇用も安定しているし、子どもに関する不妊治療なども助成してくれるということになれば、お母さん方にとっては非常に良い、住み良いまちになってくると思いますので、独自推計パターン④の家族移入などにも繋がっていくのではないかなと思います。そういうところを中心にしていけば良いのかなと思っております。

G会長 …… 最後に、脇元さん、漁協の話でも結構ですし、防災対策の点でも良いですし、何か一言お願いできないでしょうか。

N代理委員 …… 漁協では養殖業が主なものになっていますが、雇用などのためには、A委員もおっしゃいましたが、どうしても今までの赤字を抱えていまして、そこをどうにかしようということで頑張っておりますが、雇用を増やすにも従業員を増やすにも、儲けていないと高い給料を払えないということもありまして、そのようなところからも、なかなか若い人が入ってこれない状況にありまして、そこをこれから、養殖業のほうは利益をどうやって出していくかというところを一生懸命考えているところであります。

また、一本釣り漁業のほうは、釣れて収益が出れば若い人も帰ってきたりするのですが、魅力があれば、お金だけではないですが、利益があれば一本釣り関係も若干は増えてくる感じがありまして、利益を求めてやっているような感じであります。

あと、防災関係では、天災なのでどうしようもないのですが、うちのほうで困っているのは、ちょうど真ん中で営業しているものですから、従業員の移動が一番困っているところでございます。トラックなどが遠回りするというところで、輸送の関係に困っている状況であります。

G会長 …… それぞれ、具体的なご意見をいただきまして、次の素案作りに生かしてもらいたいと思いますが、最後に市長の方から今の意見を踏まえてご意見を頂きたいと思います。

市長 …… たくさん出ましたので、なかなか一つ一つには答えられませんが、全体的な考えの中で少しお話したいと思います。

今回、人口ビジョンということで意見交換をしていただきました。絵に描いた餅にならないために、垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中身をどうするのかということなのですが、説明をさせていただいて、次回までにそれぞれの考えをご提案いただくということです。



---

共通認識として持つておかなければならないのが、人口減少社会という事ですから、これまでみたいにモノをいっぱい作れば売れるということではないです。

垂水は食が宝ですから、どこも国内市場は減っています。市場としては海外も含めて考えていかないとけないとなった時に、今までのモノづくりだけの延長では限界がありますので、それぞれ6次産業化と観光振興で私が申し上げたいことは、いかにして儲かる仕組みを作って、国内国外へ販路を広げていきましょう。そのために、力を合わせていきましょうという話をしております。

なぜかと言いますと、垂水のカンパチ・ブリは日本一の生産量で、国内の18%を持っています、生産高で150億。この生産高を155億とか160億というのは、なかなか難しいですが、いわゆる、加工販路の出口まで含めると500億あります。差し引きの350億は生産者以外が儲かっているという現状です。そこで、加工のところに力を入れていったり、販路を求めていくことによって、そこに雇用が生まれたり利益が発生します。儲からないとやっぱり続きませんので、そういった視点で、水産業ばかり言うておりますが、農業にしても、畜産にしても、他の分野にしても、その部分をやらないと難しいと思いますので、そういう意味で6次産業化ということをお願いしたいと思います。

観光振興に関しましては、これもまた人口減少時代の中で、定住人口増というのが一番の目的ですけれども、その前段として、交流人口を増やしたいということです。10年前に43万人だったのが120万人ぐらいまできております。今回、キーワードの一つとして南の拠点ということで色々分析しますと、80万人ぐらいの増加が見込めるということで、200万人を大きな目標としております。

定住していただく、あるいは、宿泊していただくことが良いのですが、知事がよくおっしゃっているのが、国内の宿泊20人で1人分の定住効果があり、外国人だと8人で1人分の経済効果があるということでもありますので、仮に国内の人で200万人を実現できたならば、20万人の人が住んでいるような経済効果が生まれるということですから、我々は良いも悪いも桜島に影響されておりますので、観光資源であり、温泉資源の恵みもあるのですが、桜島の降灰も含めて影響がありますから、ここは変えられないです。ですので、そこを理解したうえでどういう方向性を出すのかとなった時に、6次産業化と観光振興ということでもあります。

漁業においてもブルーツーリズムの評判凄く良いですので、あるいは、猿ヶ城のキャニオニングを生かしながら、他にないものを生かしながらやっていくことが未来を拓いていくことになると思いますので、そういった中で経済を回して、若い方々が住めるようにしていけば、自ずと子育て支援の問題も含めてやっていけると思っております。

---

そういった意味で、南の拠点の一つのキーワードとして販売の場、加工の場、さらには、情報発信の場となっていくのではないかなと思います。そこに魅力的な画が描ければ、金融関係の方々からもどんどんお金を貸していただけるという仕組みになるとと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

---

G会長 … ありがとうございます。  
その他に何か委員の皆さまから、ご意見がございますでしょうか。事務局の方から何かございますでしょうか。  
ご意見等がないようでしたら、これにて、終了したいと思いますけれども、よろしいでしょうか。  
それでは、事務局の方から今後のスケジュール等について何か連絡があればお願いいたします。

---

事務局 … 次回の審議会については、8月を予定しております。会場については市役所内を考えております。日程につきましては、現時点において決まっておきませんので、委員の皆さま方におきましては、8月の都合の悪い日が分かっておりましたら、早めにご連絡いただければと思います。

---

G会長 … ありがとうございます。  
南の拠点が大きな一つの目玉になるとと思います。そこにどのような機能を持たせて、どのように実現していくのかということが全体の肝になるとと思いますので、具体化にあたっては、皆さまからのご意見を出していただきたいと思います。  
それでは、これもちまして、本日の審議会を終了したいと思います。長時間ご苦労様でした。

---

事務局 … 終了後に申し訳ありません。  
別紙の意見書についてですが、意見がない場合についても、FAXでも構いませんので、8月7日（金）までに提出をお願いします。

---

… 17:00 終了

---